

事業名 青少年の健全育成に資する体験活動等の推進	評価実施者	所 属 社会教育課 職・氏名 課長 河野 敏 昭
--------------------------	-------	-----------------------------

事業の概要	開始年度	根拠法令等					特定財源		
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕							
	目 的	青少年の成長段階に応じた各種体験活動等に参加する機会を提供し、青少年の豊かな社会性と人間性を育むことを目的とする。							
	事業内容	(1)「滝川遊学会事業」として、市内の社会教育関係団体やボランティアの支援によるスポーツ、レクリエーション、文化体験、自然体験などの各種体験事業の実施。※H19年度主要施策 (2) 滝川市青少年育成育成会と滝川市地域活動連絡協議会との連携による青少年健全育成事業と資金造成事業の実施。							
事業コスト	区 分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	特 記 事 項		
	事業費(A)		339	223	250	230	～H18年度 道費補助金 H19年度～ 遊学会事業補助金(市補助)		
	うち一般財源		40	40	250	230			
	人件費(B)								
	総コスト(A)+(B)	0	339	223	250	230	※単位：千円		
実績と成果	区 分		単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果
	事業の実績 (アウトプット)	1 滝川遊学会事業	人		609	838	677		別紙資料(H19年度 滝川遊学会事業実績)
		2 たきかわ子どもドッジボール大会	人		313	218	241		
		3 かるた大会	人			65	112		
	事業の成果 (アウトカム)	1							
		2							
		3							

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察	
1 適応性	7	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1
		②事業を市が行う必要性があるか。	☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1
地域の子どもの遊びやふれ合いの機会、異年齢間の交流、自然体験、社会体験の機会が減少し、社会のルールや競争意識、思いやりなどを子どもたちが学ぶ貴重な場や機会が減少している。 青少年が健全に育成される社会の実現には、まちぐるみで取り組むことが重要であり、今後も家庭、学校、地域、青少年育成団体、社会教育関係団体、事業者、ボランティアとの連携が不可欠であり、それらの活力を引き出すため、今後、ソフト事業の実施について、市は運営主体から企画・調整・助言へと移行していくことが望ましい。			
2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1
		④施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。	☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1
平成19年度の主要施策である「滝川遊学会事業」は青少年育成団体、社会教育関係団体、ボランティアと連携し、各種体験事業に参加する機会を提供するなど、望ましいあり方であり、文部科学省においても、学校教育や社会教育においての体験活動による青少年の健全育成を推奨している。 ※H19年度教育行政執行方針「生涯学習の充実-青少年の健全育成の推進」に寄与する。			
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適切か。	☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1
各関係団体等の連携により各種体験事業等を展開し、確実に成果を上げていると考えるが、事業への参加者数の増減のみで目標の達成度を判断することは難しく、今後、その評価の手法を研究する必要がある。			
4 経済性効率性	8	⑦コストは縮減しているか。	☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1
		⑧事務は効率的に行われているか。	☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1
社会教育関係団体との事業連携(共催)やボランティアの活動支援により、コストの縮減が図られるとともに、事業実施に係わる事務の効率化が図られている。			
総合評価	合計	30	ランク (A～E)
	↓ 100点換算	94	A
		上記評価を踏まえた事業の課題 今後も青少年育成団体、社会教育関係団体、ボランティアと連携しながら事業を進める必要があるが、市の役割も従来までの事業の運営主体から企画・調整・助言へと移行していくことが望ましい。また、事業費の確保について検討する必要がある。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☒ 現状維持	

◎外部評価

評価項目	点数	判 定		点検・評価に関するコメント	
1 適応性	7	① ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	② ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1	体験活動を通して子どもたちに自信を持たせることは大切であり、そのことは、学校教育の場においても良い効果に結びつく。児童センターを利用しない子どももいるが、今後その対応を検討する必要がある。青少年の活動を支援する基金や補助制度の活用を促す必要がある。	合計 30 ↓ 100点換算 94 ランク A
2 有効性	8	③ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	④ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1		
3 目標達成度	7	⑤ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	⑥ ☐ 4 ☒ 3 ☐ 2 ☐ 1		
4 経済性効率性	8	⑦ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1	⑧ ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1		

平成19年度 滝川遊学会事業実績

NO	事業名	期 日	場 所	事業概要	主管・支援・連携団体等	参加人数 (人)
1	元気に遊ぼう①	7月27日(金)	花月地区児童センター	竹トンボで遊ぶ	事務局	40
2	元気に遊ぼう②	7月30日(月)	花月地区児童センター	ドッジビーで遊ぶ	事務局	40
3	空知川水生生物調査	7月31日(火)	空知川	水の生き物を探して川がきれいかを調べる	滝川河川事務所	9
4	子ども食育キャンプ 「滝川ごちそう探検隊」	8月8日(水)～9日(木)	丸加高原オートキャンプ場ほか	宿泊・自然体験と食に関する知識を深める	JAたきかわ青年部・そらぶちキッズキャンプを創る会・日本野鳥の会滝川支部・栄養教諭	34
5	水の生きものを調べよう	8月27日(月)	東滝川地区	身近な地域の水生生物を調べる	東滝川農地・水・環境保全協議会・たきかわ環境フォーラムほか	11
6	秋の星空観察会	9月23日(日)	丸加高原	秋の星を観察する	たきかわ環境フォーラム・砂川天文同好会	120
7	元気に遊ぼう③	10月26日(金)	中央児童センター	スポーツチャンバラで遊ぶ	滝川スポーツクラブ	12
8	子ども探検ツアー	10月28日(日)	札幌市 ウインタースポーツミュージアムほか	いろいろな施設を見学し体験する	事務局	30
9	茶道を体験しよう	11月10日(土)	中央児童センター	茶道を体験する	宗徧流滝川支部	9
10	元気に遊ぼう④	11月28日(水)	花月地区児童センター	いろいろな遊びを楽しむ	滝川子ども元気応援団	24
11	元気に遊ぼう⑤	H20年1月11日(金)	北地区児童センター	レクリエーションを楽しむ	滝川レクリエーション協会	45
12	スノーレク2008	H20年1月12日(土)	北電公園スロープ	冬のいろいろな雪遊びを楽しむ	滝川スポーツクラブ	180
13	元気に遊ぼう⑥	H20年1月26日(土)	中央児童センター	ドッジビーで遊ぶ	滝川スポーツクラブ	15
14	10人11脚に挑戦しよう	H20年3月 1日(土)	滝川スポーツセンター	10人11脚の滝川チャンピオンを決定する	滝川スポーツクラブ	88
15	冬の森あそび	H20年3月16日(日)	滝川市学校林(空知太)	冬の森で自然観察といろいろな遊びを体験する	(社)北海道森と緑の会・空知森づくりセンター・たきかわ環境フォーラム	20